

	施策名	評価項目	参考指標	委員の意見（評価・評価に付随する意見）	委員のその他意見（要望・提案・質問等）
	1【継承】文化芸術資源の継承	(1)文化財・伝統芸能等の保存・継承の支援・活用が図られたか。	<p>①小峰城の石垣修復見学会の実施回数・参加者数。</p> <p>②伝統芸能を継承している団体への支援内容</p>	<p>(浅川委員)図られた。 ①石垣の修復で小峰城が生き返り、熊本城へ技術面でのサポートもでき支援が図られた。暗く見過ごしてしまいがちだった「小南湖」の整備・文化財保護が図られた。 (小林委員)図られた。 ①白五小・みさか小に3年生の孫がいる。今とは違う生活様式は、書面では理解できなくとも、行って、見て、触れてみると理解できるため、体験が大切だと実感した。 (山本委員)図られたと思う。 (中上委員)図られた (堀内委員)図られた。 (青砥委員)一部図られた。 ①石垣修復作業は全国の地震被災地に先駆けた取り組みである。歴史的まちなみ修景事業・歴史的風致形成建造物保存修景事業は、それぞれ事業の進捗について発信不足。 (須藤委員)図られた。 ①小峰城石垣の修復を間近で見ていて、素晴らしい力を感じる事業だったと思った。残さなければならない文化財の復旧が嬉しい。</p>	<p>(中上委員)①小峰城石垣の修復は白河の誇りであり、末代まで継承。 (青砥委員)①知見を蓄積・発信することを継続し、全国をリードする姿勢を見せて欲しい。歴史的まちなみ修景事業・歴史的風致形成建造物保存修景事業は、事業の必要性・展望について、市民の合意形成・認知度向上が必要ではないか。⇒該当する町内会・個人には周知している。 (須藤委員)②無形民俗芸能の名前は知っているが、全く観たことがない。イベントとしてコミネス等で公開したら、もっと身近になるかと考える。</p>
		(2)地域に残る文化芸術資源が掘り起こされたか。	①調査等の今後の方向性。	<p>(浅川委員)ほぼ掘り起こされた。 ①蒲生羅漢等素晴らしいものを展示できた。 (山本委員)掘り起こされたと思う。 (本宮委員)掘り起こされた。 ①屏風が寄贈されたことは、芸術資源の掘り起こしにつながったと思う。 (中上委員)なかなか難しい。 (堀内委員)掘り起こされた。 ①蒲生羅漢の作品（廟風）が市に寄贈されたことは、展示活動が地元の歴史への理解や作品掘り起こしにつながった良い例である。 (青砥委員)市民への展示を通じて資源を再発見する取り組みは評価できる。</p>	(浅川委員)①集古苑等が市民に浸透し、足を運んでもらう努力を。

	施策名	評価項目	参考指標	委員の意見（評価・評価に付随する意見）	委員のその他意見（要望・提案・質問等）
基本施策	2【共有】 本市特有の文化芸術の共有	(1)地域文化を学ぶ機会が創出されたか。	①公民館における歴史講座の実施回数・参加者数。	(浅川委員)大いに創出された。 ②特に戊辰関係については市民に広く発信できた。 (山本委員)創出されたと思う。 (中上委員)歴史講座が多くなり、学ぶ機会ができた。 (堀内委員)ほぼ創出された。 (青砥委員)創出された。	(久保田委員)①小中学校の学校司書による生徒の図書館活用の指導、生徒への推薦図書への提示にさらに力を入れてほしい。 (浅川委員)③他市町村に見られない市民合唱団の存在は地域文化を計っている。 (本宮委員)①公民館における講座は今後も続けてほしい。 (堀内委員)⑤食文化の伝承事業に関してはあまり実践事例がなかったのか。マイタウンやだるま市等の祭り、イベント、学校や学校のイベントなどで地域の食文化を伝えたい。⇒今後検討。 (青砥委員)①公民館での歴史講座について、それぞれの参加者数、参加者の属性(性別、年代)を教えてください。 ⇒文化財教室 421人、60代～70代、男女比半々 わくわく地理教室 52人、60代～70代、男女比半々 歴史探訪教室 122人、60代～70代、男女比半々 高砂学級 34人、60代～80代 男4人女30人 レディースセミナー 16人、60代、女性のみ 東ふるさと教室 85人、60代～70代、男6人女23人 ④白河集古苑の企画展示の講演会の内容について教えて欲しい。 ⇒講演会名：学芸員による講演会 演題：蒲生羅漢ってどんな人？ 月日：平成29年9月24日(日) 場所：りぶらん 講師：白河市文化財課学芸員 参加者数：約70人 (須藤委員)④集古苑は、他から来た方は行っても、白河の人は割と行っていないようだ。もっと興味を持ちたい。
		②戊辰戦争等に関する情報の発信内容。	②戊辰150周年記念事業は、多彩かつ充実したメニューで市民への情報発信が十二分に行われたと考える。 (須藤委員)創出された。 ②「れきしら」で地元の間でも知らない白河について多くを学べた。面白かった。 ③音楽の祭典は、市民参加型として多くの人々が動き、良いステージだったと思う。		
		③市民歌の普及のための取り組み内容。	④資料館等における企画展示内容。		
		⑤食文化の伝承事業の今後の方向性。			
		(2)学校等における郷土学習の充実が図られたか。	①学校における史跡や文化財に関する学習機会の内容。	(浅川委員)やや図られた。 (山本委員)図られたと思う。 (本宮委員)図られた。 ①全児童の歴史新聞はよかった。小学校で白河の史跡や文化財に触れているため、郷土学習の充実が図られている。 (中上委員)図られた。	(浅川委員)①小中学生・教員等には良いが、一般人への周知が少ない。ふるさと文化伝承館が在ることすら知らない。 (青砥委員)①次年度以降、新しい学習指導要領が施行されるが、それらに対応した内容の充実は検討しているか。⇒現在の取り組みで合っている。
		②資料館等を見学した学校数。	(堀内委員)図られた。 ①小学生のうちから郷土学習に積極的に取り組む様子は好ましい。		

	施策名	評価項目	参考指標	委員の意見（評価・評価に付随する意見）	委員のその他意見（要望・提案・質問等）
	3【整備】 文化芸術環境の整備	(1)文化施設の環境が整備され、連携推進が図られたか。	①コミネス・りぶらん・マイタウンの連携内容。 ②りぶらん等における企画展示内容。 ③コミネス・東文化センター・公民館・マイタウンの施設整備内容。	(浅川委員)やや図られた。 ②大信のため、文学館がりぶらんで展示したことは有効だった。 (山本委員)図られたと思う。 (中上委員)図られた。 素晴らしい音楽堂ができ、身近で文化に触れることができた。 (堀内委員)図られた。	(浅川委員)①アウトリーチコンサート・ワークショップ等の連携はできても集客に繋がらなかった。 (堀内委員)①コミネスとりぶらんは隣同士、市民の公共の場であり、より良い連携が望ましい。 ②りぶらんの掲示スペースはよく活用されているイメージがある。 (青砥委員)①イベントのみではなく、日常的な連携も実践されていると思うが、それらについても整理・報告してはどうか。 (須藤委員)②文化芸術環境として、空き店舗、蔵等の利用は問題点が多いような気がする。 ③公民館の老朽化が気になる。あの場所に必要かどうか、マイタウン等もあるのでまとめることはどうか。
		(2)創造・創作環境が整備されたか。	①アートセンターの構想の今後の方向性。 ②蔵や空き店舗の利活用の今後の方向性。	(中上委員)良い環境ができたと思う。	(本宮委員)②空き店舗の利活用は助成金があるのか。金額や年数を教えてほしい。 (青砥委員)①②検討されていない理由は何か。 (堀内委員)①アートセンターの構想はまだないが、アートの日、アート週間などのイベントのことか。⇒基本計画P13に記載。 ②蔵や空き店舗の活用はもっとあっても良い。例えば、展示、講座、講習会、活動場所などとして利用してはどうか。
	4【発信】 文化芸術情報の収集及び発信	(1)文化芸術情報が発信されたか。	①広報紙・コミネス通信の活用内容。 ②観光等他分野との連携による情報の発信内容。	(浅川委員)発信された。 ①1市3村合併のため情報が多いが頑張った。 ②首都圏・県外へのPRはかなり頑張った。 (山本委員)発信されたと思う。 (中上委員)十分に発信されている。 (堀内委員)一部発信された。 ①市の広報紙は市全体だがコミネス通信は会員だけが対象。コミネスのホームページは必ずしも皆がチェックしてはいない。よって、自主的な催しの宣伝方法はなかなか難しいと感じた。 ②観光等のPRは良いと思う。 (須藤委員)発信された。 ①広報紙はもとよりHPも活用できた。県外からの来白者も多かったと思う。	(久保田委員)各地域、各団体の情報の更なる収集、そして発信にさらに力を入れてほしい。例示・金勝寺塾（地域子供会）・「立教志塾」・「南湖森林公園案内人の会」の取り組み等。 (本宮委員)旧市内だけにならないようにしてほしい。 (青砥委員)①コミネスイベント情報は、より積極的に公報誌等で発信されても良いと思う。 ②県内・隣県へのイベント情報の周知についてはどのように行われているか。観光PRとの連携は、あまり有機的ではない（イベント内容と広報内容が合っているのか）ように見受けられる。

施策名	評価項目	参考指標	委員の意見（評価・評価に付随する意見）	委員のその他意見（要望・提案・質問等）
5【活動への支援】 文化芸術活動への支援	(1)文化芸術団体と連携した市民参加型事業の充実が図られたか。	①音楽の祭典・美術展覧会・市民芸術大会の内容。	(浅川委員)図られた。 ①②それぞれの団体が市民参加事業を行い、述べ人数20,279+15,000=35,279人、市人口の半数が参加したことになり、すごい一言に尽きる。 (山本委員)多数の参加者があり、市民参加型事業の充実が図られたと思う。 (中上委員)図られた。 数多くの交流がなされていることに気がついた。 (須藤委員)大変充実していたと思う。	(浅川委員)①サンライズひがしフェスティバルの参加者数15,000人は本当なのか。⇒正しい。 (小林委員)①市内での行事が重複してしまうのは仕方ないと思うが、残念。 (本宮委員)①著名な音楽家によるコンサートで、今後白河市出身の音楽家のコンサートはどうか。 (青砥委員)①②イベントは多様なものがあり参加者も多様だが、改めて、ここで定義する「文化芸術」とは何か聞きたい。⇒基本計画P3で規定。 (須藤委員)①②イベント・ステージの数が随分多く、行う方も観る方も忙しかったことも事実。支援ということであれば、もう少し落ち着いた、深い支え方があっても良いのではないか(イベント等の数の調整等)。
	(2)文化芸術活動に対する多様な活動が支援されたか。	①音楽の祭典・美術展覧会・市民芸術大会の内容。(再掲) ②活動分野が異なる団体間の交流機会の内容。 ③補助金制度の紹介内容及び相談件数。 ④団体主催事業の後援承認件数。 ⑤専門人材の養成講座の実施内容。 ⑥アウトリーチの実施内容。	(浅川委員)図られた部分もある。 ①～④は図られた。 (山本委員)多数の参加者があり、多様な活動が支援されたと思う。 (堀内委員)支援された。	(浅川委員)⑤⑥人材育成は市民と主催側にギャップがある。アウトリーチも行えば良いという姿勢ではなくもっとPRすべき。 (小林委員)①市民芸術大会等は、多くの市民が参加・見学する行事。市の文化団体が発表会等で利用する際、コミネス使用料等は免除にならないのか。 (青砥委員)⑤コミネス人材育成について、より参加者層を広げるための工夫があるか聞きたい。⇒今年度は「舞台技術者養成講座」「舞台制作者養成講座」「コミネス・カルチャークラブの自主事業」等を実施した。参加者募集については、コミネス通信やコミネスHP等に掲載しているが、今後はSNS等も利用して拡充していきたい。
6【育成】 文化芸術活動の担い手の育成及び確保	(1)文化芸術の担い手・後継者等が育成されたか。	①若手芸術家等への活動機会の提供内容。 ②文化施設スタッフへの研修の実施回数・参加者数。 ③各種事業や施設ボランティアの人数。 ④アートマネージャーやアートファシリテーター等の養成の今後の方向性。 ⑤専門家を交えたプロデュース事業や創造型事業の実施内容。 ⑥共同制作事業の実施の今後の方向性。	(浅川委員)図られつつある。 ③コミカルクラブなどは今後期待するに値する団体である。 (山本委員)育成されたと思う。 (中上委員)育成については、時間をかけて継承されると思う。 (青砥委員)精力的に実施されていると感じる。 (須藤委員)育成につながる事業も多く、若いアーティスト達のこれからの成長が楽しみである。	(須藤委員)①白河にどうやって活動の場を作るのかが課題だと思う。 (堀内委員)⑥共同制作事業とはどのような事業か。30年度の第九、影向のボレロ、又はワンコインコンサートのような事業か。
	(2)芸術家等の情報が登録され、連携が図られたか。	①本市ゆかりの芸術家等への活動機会の提供内容。	(浅川委員)ほとんど図られていない。 ①本市ゆかりの芸術家について、どのような人材がいるのか分からない。 (山本委員)登録され、連携が図られたと思う。 (堀内委員)育成された。	(青砥委員)①次世代の本市出身のクリエイティブクラス育成のために、施策はあるか。本市出身の若いアーティスト、クリエイター、デザイナー、エンジニアなどへの奨学金などを検討してはどうか。

	施策名	評価項目	参考指標	委員の意見（評価・評価に付随する意見）	委員のその他意見（要望・提案・質問等）
基本 施策	7【子どもへの支援】子どもの文化芸術活動の充実	(1)優れた文化芸術の鑑賞機会が拡充されたか。	①アウトリーチの実施内容。（一部再掲） ②マタニティコンサートの実施の今後の方向性。 ③親子で鑑賞できるプログラムの実施回数。 ④キッズシアター・舞台芸術鑑賞授業の内容。	(浅川委員)ほぼ拡充されている。 (山本委員)拡充されたと思う。 (本宮委員)拡充されてきている。 (中上委員)コミネスができ、他に自慢できる。素晴らしい文化芸術を鑑賞できたと思う。 (須藤委員)以前よりは芸術文化等に触れるチャンスは多いと思う。子ども達を対象にしたアウトリーチ活動は、未来の観客（聴衆）を育てることになるので大切にしたい。	(久保田委員)市立図書館の地域事業の充実。例示「映画教室」等にさらに力を入れてほしい。 (浅川委員)④鑑賞の内容については常識では考えられない演奏形態に疑問を感じた。中学生にとってそれが常識と思われては困る。 (本宮委員)今後も沢山の機会を設けてほしい。 (堀内委員)②マタニティコンサートについて、実現出来たら嬉しい。 (青砥委員)①学校向けアウトリーチは、どの学校に対して行われ、なぜその学校が対象になったのか整理して欲しい。⇒公共ホール音楽活性化事業「ピアノデュオ・デュエット・かなえ&ゆかり」：白五小、五箇小、信夫二小（市内小学校15校に照会、3校から実施希望有。） 早稲田大学文化交流事業：白河実業高校合唱部（市内高校に照会、1校から実施希望有。） ②マタニティコンサートを検討していない理由があれば教えてほしい。⇒今後検討。 (須藤委員)芸術文化等に触れるチャンスは、地方はまだまだだとも思う。
		(2)子どもの文化創造体験の充実が図られたか。	①アウトリーチの実施内容。（一部再掲） ②親子で体験できるプログラムの実施内容。 ③文化芸術団体による学校文化部等への支援の内容。 ④参加型キッズイベントの内容。（一部再掲） ⑤中山義秀記念作文コンクールへの応募者数。	(浅川委員)図られた。 (山本委員)図られたと思う。 (中上委員)子ども達も良い体験をしていると思う。 (青砥委員)精力的に実施されていると感じる。	(久保田委員)小中学校への出前講座の実施。例示「俳句教室」等にさらに力を入れてほしい。 (浅川委員)③本市において仙フィルの体験コーナーに応募する子どもが少ないと思ったが、驚くほどの参加人数だった。 (堀内委員)文化芸術団体による学校文化部への支援とはどのような支援なのか。 (青砥委員)小中高校教員の多忙化に着目し、文化部部活動の活動の場を、コミネス、図書館、エマノン等で担保してはどうか。
	8【創出】文化芸術創造の機会の創出	(1)全国へ発信できる新たな文化芸術プログラムが構築されたか。	①専門家を交えたプロデュース事業や創造型事業の実施内容。（一部再掲） ②共同制作事業の実施の今後の方向性。	(浅川委員)市民への機会は図られた。 ①市民と専門家との連携はできたと思うが、それが全国へ発信できたかどうかは疑問。 (山本委員)構築されたと思う。 (本宮委員)よかったと思う。 (中上委員)関係者の方々の努力が見える。 (青砥委員)構築された。 ①KEGON、薪能とも、前衛的かつ先進的なイベントであったと感じる。 (須藤委員)構築された。 ①地方でもこんなことができる、そんなプログラムが多く、楽しめた。白河だからこその連句等、PRにつながる事業は非常に興味深かった。	(浅川委員)①連句は長い年月をかけてPRを続けてほしい。 (小林委員)①「スペースオペラKEGON」は、孫が出演したこともあり見せてもらった。小さい子（小学校低学年）にはあまり理解できない内容だったように思った。ターゲットは大人だったと理解した。 (青砥委員)①継続的に文化芸術の新しいあり方を発信・提案する地域であることを望みたい。継続して、先進的な芸術を実践しようとするアーティストとの関係性を構築していくにはどのように事業を進めていくのか、考えを聞きたい。⇒今後もこれまでと同様に、創造型の「文化芸術事業」を継続していく予定である。 (須藤委員)①もっと集客できたらよい。
	(2)文化施設を拠点とした事業の創造が支援されたか。	①専門人材の養成講座の開設やアウトリーチの実施の内容。	(浅川委員)今後期待したい。 (山本委員)支援されたと思う。	(浅川委員)開館間もないコミネスに国内外で活躍する関係者を迎えることも必要だが、それ以前に職員の基本的な実技講座（お客様・市民との受け答え等）が必要。	

	施策名	評価項目	参考指標	委員の意見（評価・評価に付随する意見）	委員のその他意見（要望・提案・質問等）
	9【交流】 国内外との交流、連携	(1)国内外の都市間交流の推進が図られたか。	①姉妹都市・友好都市との文化交流内容。 ②「beyond2020プログラム」認証事業の件数。 ③国内外の都市や創造都市ネットワーク日本（CCNJ）加盟都市との連携内容。 ④インターネットやSNSを活用した文化芸術情報の発信内容。	(浅川委員)一部の人のみ図られた。 ①中学生時代に国際的な見方を勉強することは大賛成。 (山本委員)図られたと思う。 (中上委員)図られていると思う。 (須藤委員)図られた。 ①子どもの頃に経験した異文化は、人生に大きな影響を与えると思う。	(浅川委員)①市民へさしのべる手はほとんどない。市民から募集して姉妹都市等へ派遣することを望む。 (堀内委員)②beyond2020プログラム認証事業とはどのような事業か。⇒基本計画P17に記載。 ④コミネスにおける文化芸術情報発信について、SNSはどれだけ浸透しているのだろうか。 (青砥委員)①コンピューニュー市、台南市との交流を今後どのように継続するのか聞きたい。⇒市企画政策課で検討。 (須藤委員)もっと街中に広げたい。
	10【活用】 文化芸術の力の活用	(1)文化芸術によりまちづくりが図られたか。	①白河いきいき健康マイレージ事業との連携内容。 ②まちなか文化イベント・戊辰の周年事業・プロジェクトマッピングの内容。(一部再掲) ③障がい者の舞台芸術・アート展の実施の今後の方向性。	(浅川委員)図られた件と図られていない件がある。 ②戊辰・プロジェクトマッピングはまちづくりに繋がった。 (山本委員)図られたと思う。	(浅川委員)①県の事業と似ているが、市は手続きが煩雑で大変面倒。 ②家庭美術館事業に関しては全く知らなかった。 (堀内委員)③障害者の舞台芸術・アート展について、はたらきかけはどのようにするのか。 (青砥委員)③障がい者とアートという観点では、福島県内でも「はじまりの美術館」などのアウトサイダーアートの取り組みがある。なぜ当該事業がないのか。⇒今後検討。 (須藤委員)白河の「まち」全体が協力しないと「まちづくり」は難しいと思う。絵画を飾ったウィンドウも興味を持って見てもらえない。それがうまくいけば、心のケアにもつながる。
	1 文化芸術に親しんでいる市民への支援の充実	文化芸術活動を行っている個人や団体への支援の充実が図られたか。	①音楽の祭典第3部・文化庁補助事業の内容。 ②音楽の祭典・東音楽フェスティバル・市民芸能大会・美術展覧会の内容。(一部再掲) ③鑑賞の仕方・態度を学ぶ事業の今後の方向性。	(浅川委員)図られた。 ①薪能などは天候との関係もあるが、地元で鑑賞でき、心のケアに繋がった。 (山本委員)図られたと思う。 (中上委員)盛り上がり、感心するなど、市民の心を引きつけたと思う。 (堀内委員)①スーパー薪能において、提灯行列と神輿、子供達のお囃子隊が組織されたことにより、街への愛着が高められた。	(浅川委員)個人への支援とは何か具体的に記載してほしい。⇒団体でなく個人で活動する方への支援。 ③今後、市・コミネス主催・共催事業で、ダルライザーの映画鑑賞前の「鑑賞の注意」のようなものを流し、態度等の教育をしてほしい。⇒青少年健全育成事業で実施。 (本宮委員)③今後学ぶ必要があると思う。 (堀内委員)③鑑賞の仕方・態度を学ぶことは、是非必要。または、注意を促す方法が必要ではないか。 (青砥委員)③鑑賞の仕方・態度を学ぶことは、市民にとって重要な観点だと思うが、今後の方向性について聞きたい。⇒小学生対象の「ニッセイ・ファミリー劇場」で鑑賞マナーの指導を行うなどして、子供のうちから劇場でのマナーを浸透させる啓発を行っている。一般向けには、チラシに記載したり、ホールでのアナウンスやプラカードによりマナーの徹底を図っている。今後も、改善しながら継続していく予定である。 (須藤委員)指導者と施設の費用は何をやるにも大きいものなので、それが無償というのは大きな支援だと思う。

	施策名	評価項目	参考指標	委員の意見（評価・評価に付随する意見）	委員のその他意見（要望・提案・質問等）
重点施策	2 文化芸術による新たなライフスタイルの創出	ライフスタイルに文化芸術を取り入れることができるよう、文化芸術活動への興味・関心の喚起が図られたか。	①音楽の祭典・東音楽フェスティバル・わーくわくキッズカルチャースクールの内容。（再掲）  ②まちなか音楽祭の実施の今後の方向性。	(浅川委員)図られた。 以前のライフスタイルからの脱却、一般人への興味・関心の喚起が図られた。 ①キッズカルチャースクールで伝統芸能や華道等の教室を開講したことにより、興味・関心を持った子が多い。 (山本委員)図られたと思う。 (中上委員)素晴らしいコミネスのおかげで、文化芸術への関心が高まっている。 (須藤委員)図られていると思う。 ①難しいことを抜きにして、文化芸術を身近に感じていけるよう、子ども達のカルチャースクール等は大いに広めたい事業だと思う。その中で、マナーや楽しみ方を見つけて（学んで）くれたら楽しいと思う。	(本宮委員)②まちなか音楽祭の実施を検討してほしい。 (堀内委員)②まちなか音楽祭を市の施設、野外、空き店舗や蔵で実施することにより、食べ物や文化他の紹介や講演とのコラボレーションなども可能なのではないかと。 (青砥委員)音楽により親しみを持つためにどのような事業を予定しているのか、今後の方向性について聞きたい。⇒安価な料金で、市民のニーズに出来るだけ応えられるような良質の音楽（例：各種ワンコイン・コンサート等）を提供していきたい。
	3 本市オリジナルな活動団体の組織	市民主役の活動団体を組織し、活動の場が創出されたか。	①市民オーケストラの設立の今後の方向性。  ②市民による第九コンサートの内容。  ③白河文化芸術アカデミー（仮称）の設立の今後の方向性。	(浅川委員)今後に期待。	(堀内委員)①市民オーケストラの設立については、まだ具体的には進んでいないのか。ある程度のレベルを保つ為に人選、活動スペースの提供、活動頻度、支援など重要だと考える。 ③白河文化芸術アカデミーの設立については、まだ核当事業はないのか。アイデアとして、例えば、それぞれの部門の専門家によるクラス、ワークショップ、単独・単発のレッスン、専門家同士が組んでのレッスンやワークショップなど。市の企画・催しに合わせて合同で準備。場合によって一定期間の講習会など。 (青砥委員)③文化芸術アカデミー構想について、今後の方向性について聞きたい。⇒今後検討。 (須藤委員)①子どもの頃からの夢である（個人的ではあるが）市民オケ、早期に実現させたい。
	4 文化芸術を活用したまちづくり	文化芸術を鑑賞・体験・創造することのできる機会が創出されたか。	①まちなかアートフェスティバル・空き店舗や寺院を活用した事業の実施の今後の方向性。	(山本委員)創出されたと思う。	(浅川委員)①定期座禅会はお寺が実施したのか、市が呼びかけて行ったのか。⇒市まちづくり推進課の事業。 (中上委員)①空き店舗の活用は問題有。 (青砥委員)①ギャラリー、ダンスクラブ、映画上映会など、既存法規制、条例、公共施設の内規等で、建築物や公共空間など、用途が制限されている文化芸術に関する催事等を、より開催しやすくする指針などを提示できないか。 (須藤委員)①ポスター等で見かけてはいるが、参加者は少ない。PRの方法も考えなければならないのではないかと。